

2009年3月期 第2四半期決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2008年11月10日

株式会社日本製紙グループ本社



I. 2009年3月期 第2四半期連結決算 (2008年4月1日～2008年9月30日)

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 概況 | 3-6pp |
| (2) 業績 | 7-9pp |
| (3) 営業利益増減益要因 | 10p |
| (4) 特別損益内訳 | 11p |
| (5) 貸借対照表 | 12p |

II. 2009年3月期 連結業績見通し (2008年4月1日～2009年3月31日)

- | | |
|---------------|---------|
| (1) 概況 | 13p |
| (2) 業績 | 14-17pp |
| (3) 営業利益増減益要因 | 18p |
| (4) グループの主要指標 | 19p |

紙パ業界

2008年4月－2008年9月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年比
新聞巻取紙	1,771	▲1.2%
非塗工印刷用紙	1,186	▲4.1%
塗工印刷用紙※	3,228	1.5%
情報用紙	842	1.9%
その他の紙 <small>(包装・衛生・ 雑種紙等)</small>	1,928	▲3.4%
紙計	8,954	▲0.8%
板紙計	6,055	1.6%
紙・板紙計	15,010	0.1%

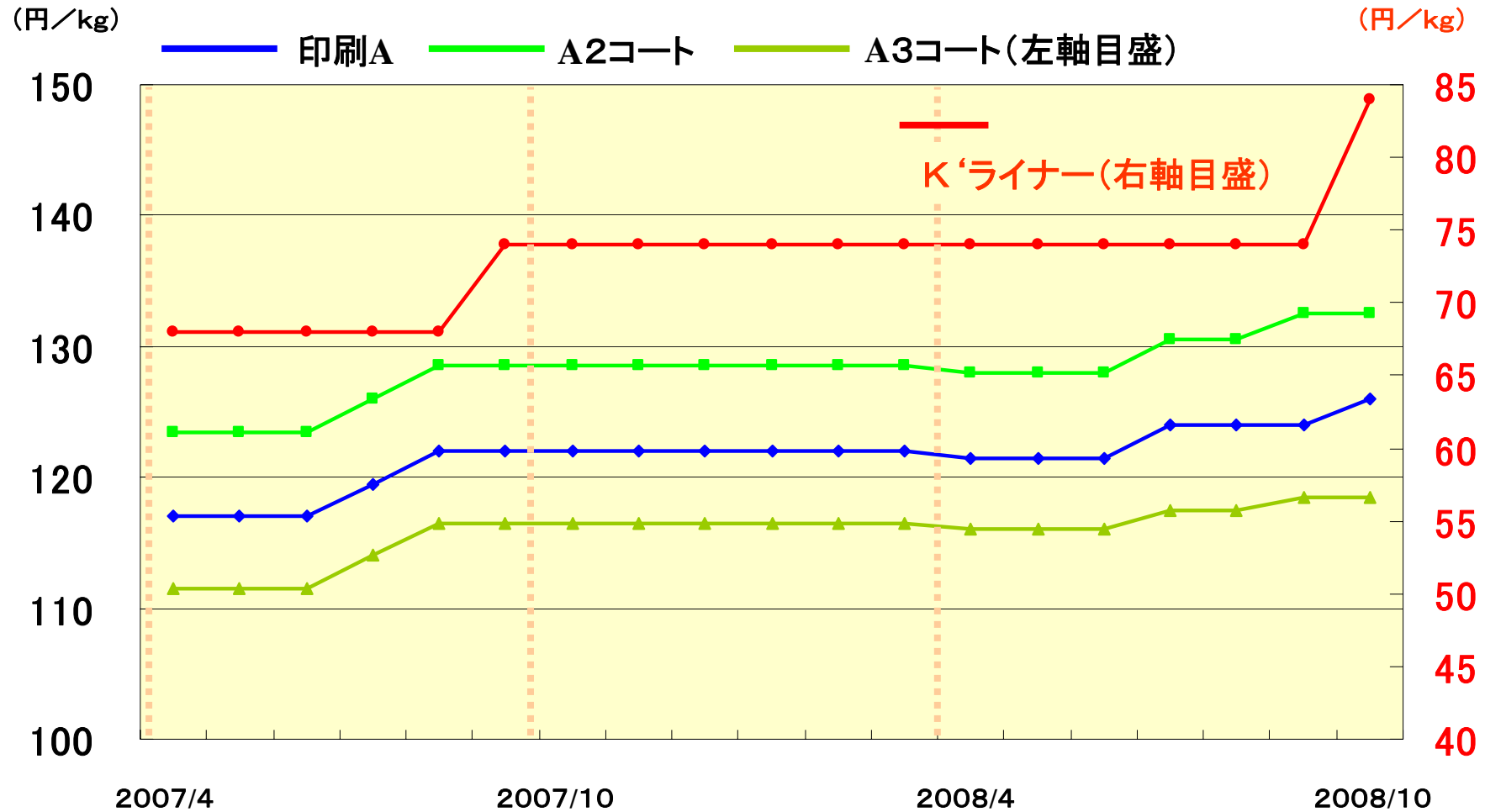
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む。

出所：日本製紙連合会

All Rights Reserved, Copyright (C) 2008 Nippon Paper Group, Inc.

紙パ業界

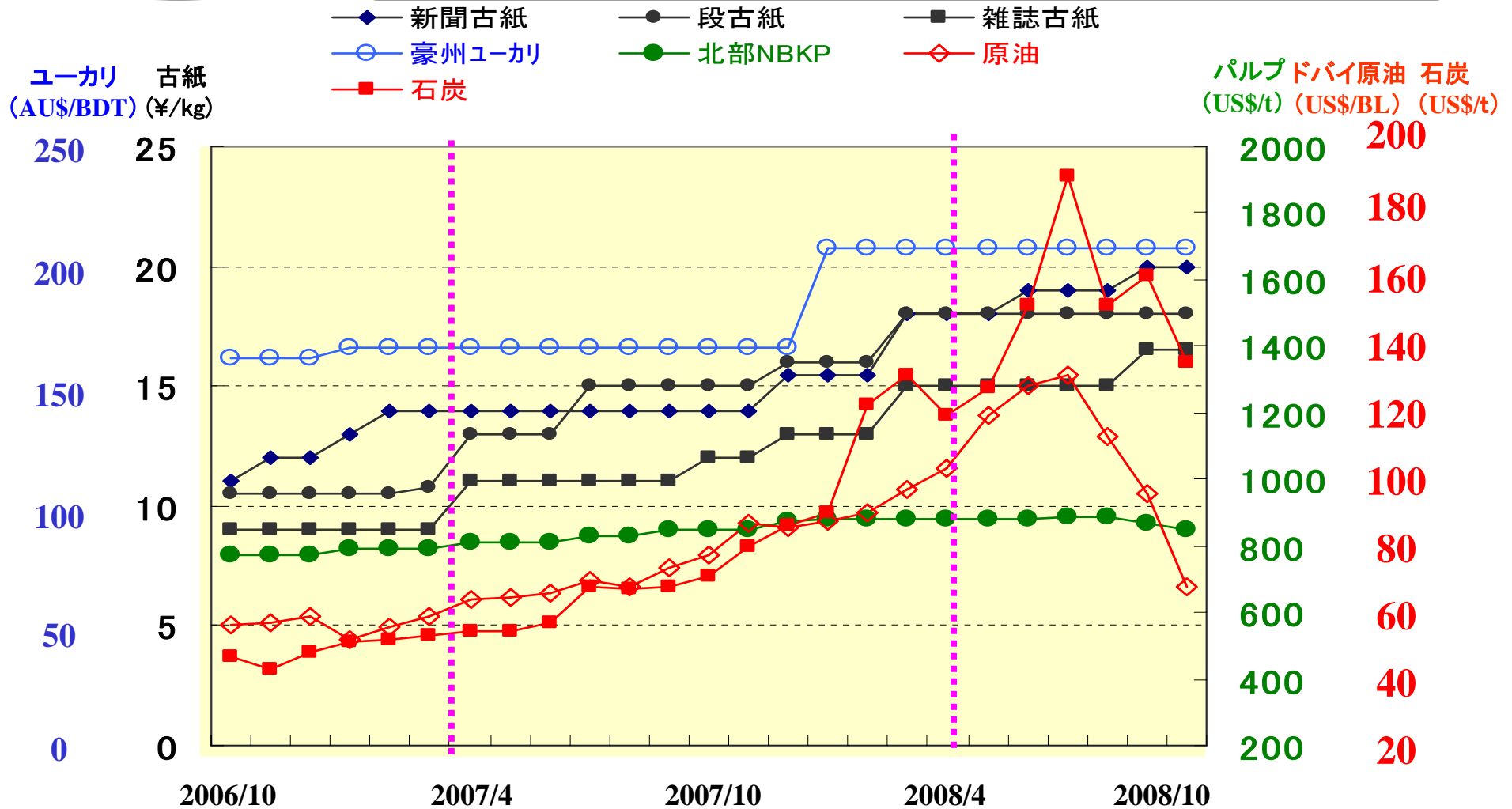
洋紙・板紙の価格動向(2007年4月~2008年10月)



出所: 日本経済新聞社

紙パ業界

主要原燃料の価格動向(2006年10月~2008年10月)



出所：古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、

原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

2008年9月までのトピックス

- 2008年4月：グループ事業再編
：価格修正発表 印刷・情報用紙等
- 5月：株式の分割ならびに単元株制度の採用を発表
- 6月：価格修正発表 段ボール原紙等
：新社長就任
- 7月：価格修正発表 クラフト紙
- 9月：吉永工場N1号抄紙機の停機を決定
：本社移転を決定（2009年度上期中）
：事業再編実施
・伏木工場閉鎖
・小松島工場紙事業撤退
・和木事業所閉鎖

連結業績

(単位:億円)	2007年9月 中間期実績	2008年9月 第2四半期実績	差異
<売上高>	5, 974	6, 290	316
<営業利益>	144	156	12
<経常利益>	139	187	48
<四半期純利益>	46	53	7

(千トン)	2007/9 (A)	2008/9 (B)	前年比 ((B)-(A))÷(A)
(国内洋紙平均価格:円/kg)※	(107.6)	(120.8)	(12.3%)
新聞用紙	652	639	▲2.0%
非塗工紙	369	347	▲5.9%
塗工紙	1,019	1,039	2.0%
情報用紙	379	366	▲3.5%
包装・雑種紙他	288	266	▲7.7%
国内洋紙計	2,708	2,657	▲1.9%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	235	243	3.7%
洋紙合計	2,942	2,900	▲1.4%
(国内板紙平均価格:円/kg)	(57.3)	(63.8)	(11.3%)
段ボール原紙	680	668	▲1.8%
紙器用板紙他	193	192	▲0.2%
国内板紙計	873	860	▲1.5%
板紙輸出	19	19	▲2.3%
板紙合計	893	879	▲1.5%
紙・板紙合計	3,835	3,780	▲1.4%

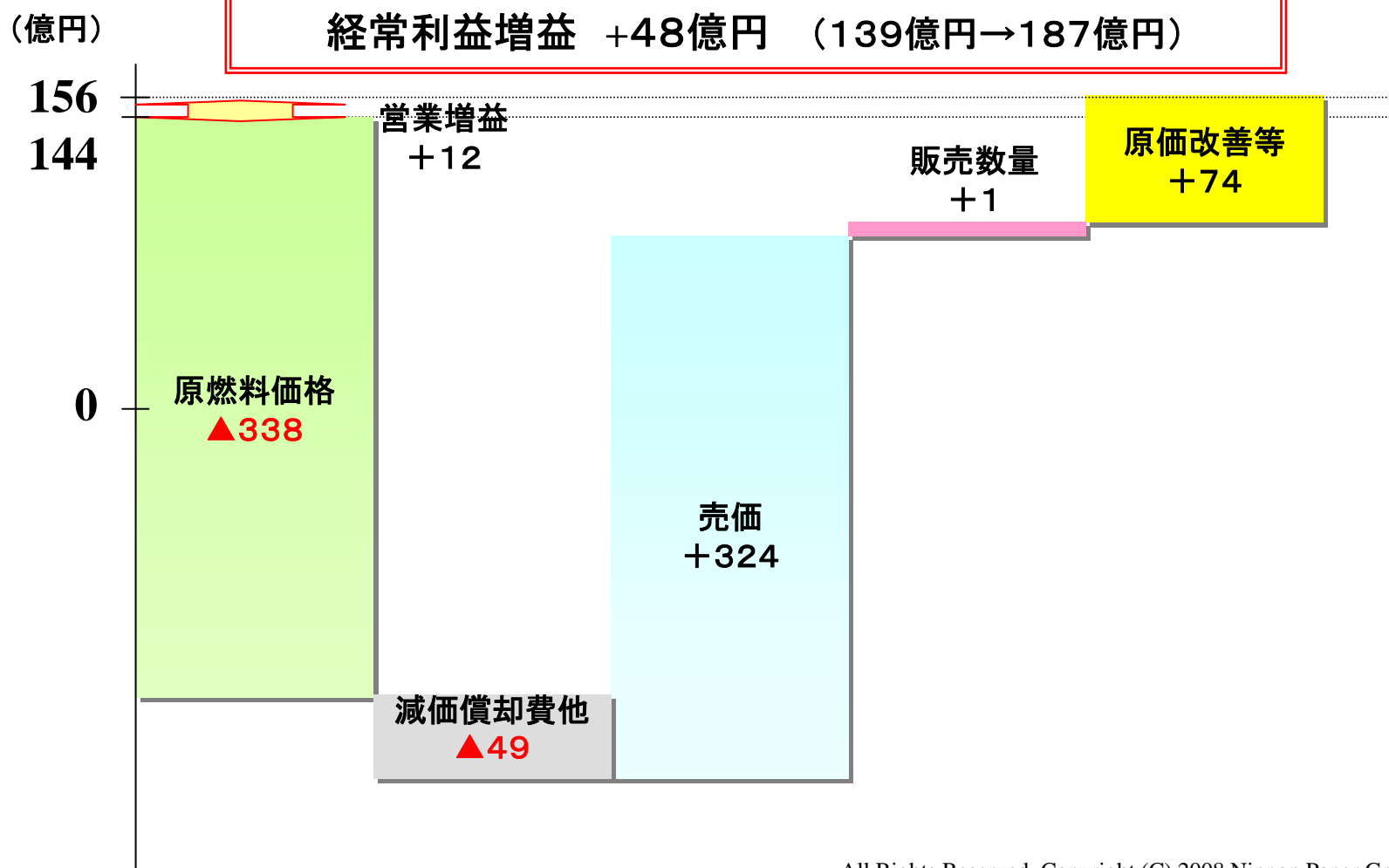
※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

(単位:億円)

	売上高			営業利益			コメント
	2007/9 実績	2008/9 実績	増減	2007/9 実績	2008/9 実績	増減	
紙パルプ事業	4,555	4,996	441	73	112	39	
洋紙他	3,706	4,029	323	80	113	33	原燃料価格上昇分を値上でカバー。 コストダウンで増益。
板紙	562	664	102	▲ 5	▲ 14	▲ 9	原燃料価格上昇。
家庭紙	287	303	16	▲ 2	13	15	昨年下半年から黒字転換。
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	518	512	▲ 6	27	25	▲ 2	
木材・建材・土木 関連事業	436	383	▲ 53	12	7	▲ 5	
その他の事業 (飲料、物流等)	465	399	▲ 66	32	12	▲ 20	四国コカ・コーラボトリング 決算期変更影響等。
合計	5,974	6,290	316	144	156	12	

2007/9実績 対 2008/9実績比較

営業利益増益+12億円(144億円→156億円)
 経常利益増益 +48億円 (139億円→187億円)



I. 決算

(4) 特別損益内訳

	2007/9	2008/9	(単位：億円)
経常利益	139	187	
特別利益	18	11	
固定資産売却益	7	1	
投資有価証券売却益	9	4	
持分変動利益	—	3	
その他	2	3	
特別損失	47	100	
固定資産除却損	13	18	
減損損失	1	16	
事業再編損	—	30	
たな卸資産評価損	—	18	
その他	33	18	
税金費用	▲ 59	▲ 46	
少数株主利益(▲)／損失	▲ 5	1	
四半期純利益	46	53	

(単位:億円)

貸借対照表

	'08/3末	'08/9末	差異	コメント
現預金	178	148	▲ 29	
受取手形・売掛金	2,627	2,696	68	
棚卸資産	1,654	1,887	233	
その他流動資産	399	365	▲ 34	
有形・無形固定資産	9,192	9,143	▲ 48	設備投資368億、減価償却▲406億 他
投資その他資産	2,206	2,084	▲ 121	
資産計	16,256	16,324	68	
有利子負債	7,853	8,113	260	
その他負債	3,605	3,485	▲ 120	
純資産	4,798	4,726	▲ 71	配当金▲45億 第2四半期純利益53億、 その他有価証券評価差額金▲27億、 為替換算調整勘定▲42億、他

2009年3月期 下期のトピックス

第3次中期経営計画 策定中

2008年10月 : 世界最大規模のブックフェア「フランクフルト・ブックフェア」に出展

— 欧州市場における当社の嵩高製品のアピール —

: コピー用紙(PPC用紙)のラインナップ変更

— 古紙パルプ配合率100%の「PPC用紙 N100」を発売 —

: 台湾／永豊餘造紙との戦略業務提携について

— 日本製紙が永豊餘造紙の板紙事業に出資 —

2009年 1月(予定)

: 株式の分割ならびに単元株制度の採用

業績見通しの前提条件

● 国内販売(下期見通し)

洋紙 : 販売数量 前年同期比▲5.4% (通期 ▲3.6%)

板紙 : 販売数量 前年同期比▲0.8% (通期 ▲1.1%)

● 主要原燃料価格・為替(下期見通し)

原油価格: 70ドル/バレル(ドバイ)

(当初見通し 3Q:85ドル/バレル、4Q:80ドル/バレル)

チップ : 上期横ばい

古紙 : 上期横ばい

為替 : 米ドル 105円/ドル(当初見通し 105円/ドル)

● (2) 業績②概容

2009年3月期の業績見通しを10月28日に
下記のとおり修正しました。

(億円)	2009年3月期 当初見通し	2009年3月期 修正見通し	(参考)2008/3月期 実績
<売上高>	12,900	12,800	12,117
<営業利益>	430	430	328
<経常利益>	390	430	328
<当期純利益>	160	190	57

(千トン)	2008/3実績 (A)	2009/3見通し (B)	前年比 ((B)-(A))÷(A)
(国内洋紙平均価格:円/kg)※	(109.6)	(123.3)	(12.5%)
新聞用紙	1,317	1,290	▲2.1%
非塗工紙	734	695	▲5.4%
塗工紙	2,101	2,001	▲4.8%
情報用紙	757	736	▲2.9%
包装・雑種紙他	542	532	▲1.8%
国内洋紙計	5,451	5,252	▲3.6%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	492	480	▲2.6%
洋紙合計	5,943	5,732	▲3.6%
(国内板紙平均価格:円/kg)	(60.2)	(67.7)	(12.4%)
段ボール原紙	1,337	1,316	▲1.6%
紙器用板紙他	389	391	0.4%
国内板紙計	1,726	1,707	▲1.1%
板紙輸出	44	40	▲8.7%
板紙合計	1,770	1,747	▲1.3%
紙・板紙合計	7,713	7,479	▲3.0%

※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

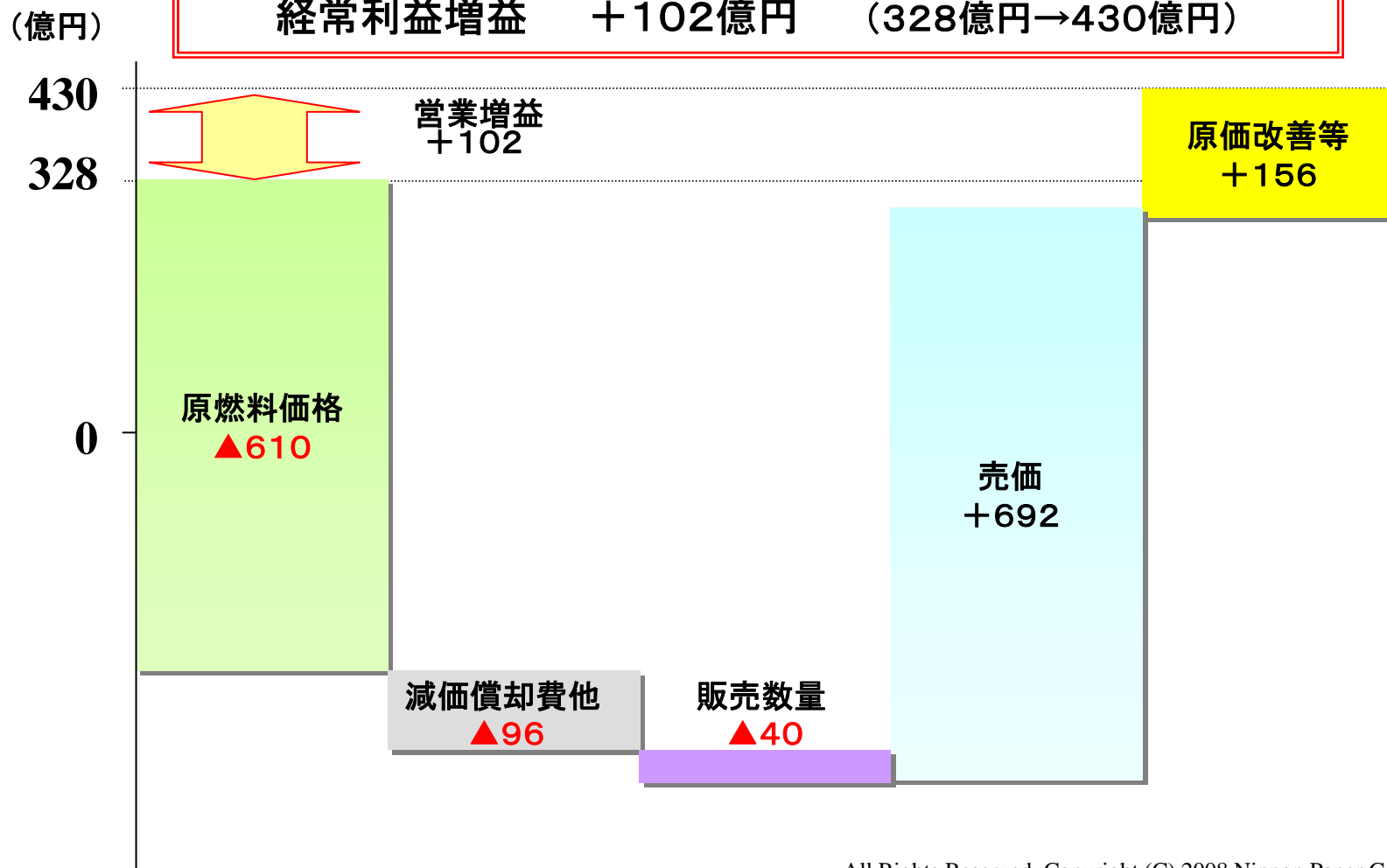
(単位:億円)

	売上高			営業利益			コメント
	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	
紙パルプ事業	9,502	10,115	613	204	327	123	
洋紙他	7,686	8,059	373	204	256	52	原燃料価格上昇分を値上でカバー。 コストダウンで増益。
板紙	1,211	1,392	181	▲ 11	37	48	原燃料価格上昇分を値上でカバー。 コストダウンで増益。
家庭紙	605	664	59	11	34	23	
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	1,021	1,034	13	43	42	▲ 1	
木材・建材・土木 関連事業	821	773	▲ 48	23	14	▲ 9	
その他の事業 (飲料、物流等)	773	878	105	58	47	▲ 11	四国コカ・コーラボトリング 決算期変更影響等。
合計	12,117	12,800	683	328	430	102	

2008/3実績 対 2009/3見通し比較

営業利益増益 +102億円 (328億円 → 430億円)

経常利益増益 +102億円 (328億円 → 430億円)



	07/3月期 実績	08/3月期 実績	09/3月期 第2四半期 実績	09/3月期 見通し
ROE	5.2%	1.3%	2.3%	4.2%
売上高経常利益率	4.0%	2.7%	3.0%	3.4%
D/Eレシオ:負債資本比率	1.6倍	1.7倍	1.8倍	1.7倍
洋紙稼働率(暦日数)	93%	92%	92%	91%
板紙稼働率(暦日数)	82%	81%	78%	78%
設備投資額(億円)	1,030	1,212	368	720
減価償却費(億円)	671	748	406	819
有利子負債残高(億円)	7,382	7,853	8,113	8,088
正規従業員数(人)	12,584	13,666	13,334	13,187

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社